

研究タイトル:

英語におけるハイフン付き複合形容詞について

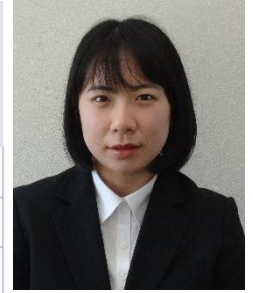
氏名: 木下 若奈 / KINOSHITA Wakana E-mail: kinoshita@fukui-nct.ac.jp

職名: 助教 学位: 修士(言語科学)

所属学会・協会:

キーワード: 英語, 生成文法論

技術相談
提供可能技術:



研究内容:

ハイフン付き複合語というものが英語には存在します。これはハイフンで複数の単語が繋がれたものが一単語として認識されているものを指します。特徴として、同じ品詞を組み合わせることはもちろん、違う品詞を組み合わせで一つの語にしてしまうことです。英語母語話者の文章を読むと形容詞として用いられているハイフン付き複合語が多く見受けられます。これをハイフン付き複合形容詞付きと呼び、例としては“well-known”(よく知られている)、や“state-of-the-art”(最先端の)などです。このハイフン付き複合形容詞は成り立ちが明確にされておらず、品詞の組み合わせパターンも調査する媒体によって異なることがわかっています。また、近年ハイフン付き複合形容詞が増加傾向にあることがわかっています。

そこで、このハイフン付き複合形容詞の成り立ちと品詞組み合わせパターンを研究することが英語学習者にとって長文を読み解く助けになると考えています。

これまで行った研究では The New York Times と The Japan Times、両紙 5 日分の総語数を出し、ハイフン付き複合形容詞の割合を計算しました。加えて、既に見つけ出されている品詞組み合わせパターンを参照して抽出したハイフン付き複合形容詞の品詞組み合わせを分析しました。